

# 日々の影向ようごうをか闕かさずして

## 処々の遺跡しよしよ ゆいせきを検知す

弘法大師作

朝夕は幾分涼しさを感じるようになりましたが、日中はまだまだ残暑が厳しいこの季節、檀信徒の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏は例年に比べて特に暑く、秋の訪れをより待ち遠しく感じておりました。ただ、気温の変化で体調を崩しやすい季節ですので、皆様くれぐれもご自愛ください。

### 真言宗の葬儀

私事ではありますが、昨年八月より東京別院さんにお世話になり始めて一年が過ぎました。年間を通して多くの行事に携わり、日々多くのことを学ばせていただいております。また、日々の法務には法事や葬儀も含まれます。

先日私が葬儀を勤めた際、ご遺族からこんな質問をされました。

「葬儀の最中、お坊さんは何をしているのですか」

私達僧侶からしたら当前のようになっている葬儀ですが、一般の方は分からない事の方が多いのだということを、改めて気づかされました。そこで簡単ではありますが、真言宗の葬儀について説明させていただきますらと存じます。

真言宗の葬儀とは、一言でいうなら『灌頂の儀式』であります。

灌頂とは、仏様より法(教え)を授かり、仏弟子として認めていただく儀式であります。お釈迦様はかつて「僧侶ではない一般の方の葬儀をしてはならない」とおっしゃりました。したがって、真言宗では枕経と通夜を経て、故人に仏

弟子として仏門に入っていたいただきます。その最終儀式が灌頂(葬儀)であります。私や住職は、高野山にて灌頂を受け、お大師様より伝わっております真言宗最極の秘印と真言を、阿闍梨様よりお授けしていただいております。真言宗の僧侶であれば例外なくです。その儀式を簡略したものが葬儀であります。したがって、葬儀では私達が授かりました秘印と真言を、皆様へお授けし、仏弟子として最終的に弥勒菩薩様の浄土へ往生していただくのであります。弥勒浄土にはお大師様もおります。そこでお大師様と共に修行をするわけです。

これが真言宗の葬儀の理屈であります。当山の葬儀に参列されたことがある方はご存じかもしれませんが、葬儀の最中に御導師様が一人で作法をしている時間があります。その時間にまさしく秘印と真言のお授けが行われています。故人様にとって最も大切な時間なのです。その他にも、他の僧侶が読経している間に、御導

師様が様々な作法をしております。故人様が無事にお大師様のもとへ行けるように拜んでいるのであります。

今回のことで、一般の方にとって仏教がいかに未知なものであるのかを、気づかせていただきました。仏教や仏事に關して、気になること、分からないことがあれば、お気軽に相談・質問していただけたらと存じます。誠心誠意答えさせていただきます。ただ、私達も皆様と同じ一人の仏教徒であり、修行の身でありますから、当然全てを知っているわけではありません。そんなときは、皆様が感じている疑問を一緒に考え、そして、同じように仏教について学んでいくことが出来たら、何よりであります。



## ハワイ・マウイ島 ラハイナ大火災

八月九日、アメリカ合衆国ハワイ州マウイ島西部において、大規模な山林火災によるラハイナ市街全焼という未曾有の大災害が発生しました。それにより高野山真言宗最古のハワイ布教寺院である「ラハイナ法光寺」も全焼という被害に遭いました。

高野山真言宗では、この度の災害による多大な被害に対して、被災者支援・被災地復興のための支援金募集を本山にて行っております。ご賛同、ご協力いただければ幸いに存じます。皆さまの温かいご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、お寄せいただいた支援金は、高野山真言宗ハワイ開教区総監部を通じて、ラハイナへお届けいたします。

ご不明な点は下記の高野山真言宗国際局へお願いいたします。

・募集期間

令和五年

十二月三十一日(日)まで

・募集方法

左記金融機関へ振込

〔ゆうちょ銀行〕

□座名義

「高野山真言宗災害義捐金

預り金部」

□座番号

〇〇九二〇一九一七五四一三

〔他の金融機関より振込〕

銀行 名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：九九〇〇

店 番：〇九九

預金種目：当座

店 名：〇九九店

(ゼロキュウキュウ店)

□座番号：〇二七五四一三

・お問い合わせ先

高野山真言宗 国際局

電話：〇七三六―五六一三〇〇

## 今回のお言葉

今月号のお言葉は、真言宗の開祖であり、高野山を開山された弘法大師空海和尚のお言葉です。

こちらは高野山の入口に立つ

『大門』の柱に掛けられているお言葉です。影向とは、仏様が仮の姿で人々を救いに現れる事で、遺跡とはお大師様が全国行脚で訪れた足跡のことです。すなわち、

「お大師さまは、毎日奥の院の御廟から姿を現され、全国の所々を巡っては、私達をお救いくださっている」という意味であり、同行二人の信仰を表しています。

お大師様の御入定から約千二百年が経ちますが、お大師様が私達を思う気持ちは、確かに今も残っており、大切に受け継がれています。私達が手を合わせれば、お大師様も必ずその想いに答えて、傍にいてくれます。これが同行二人ということなのです。

## 年間行事

- 一月 厄除け祈願大祭
- 三月 春季彼岸会・涅槃会
- 四月 研修旅行
- (阿字の子会主催)
- 五月 春季例祭・大般若会
- 七月 高野山参拝旅行
- 八月 夏季例祭・大施餓鬼会
- 九月 秋季彼岸会
- 十二月 二年参り

## お知らせ

- ・墓地分譲中
- ・傳燈館予約受付中
- ※ホームページまたはお電話にて申し込みいただけます。
- ☎：〇二六三―七七一―二四二五

## ホームページ

下のQRコードよりサイトに移動できます。※周りの方に広めて頂けたら幸いです。

